

共同研究(適応型)

気候変動による暑熱・健康等への影響に関する研究

【大分県】



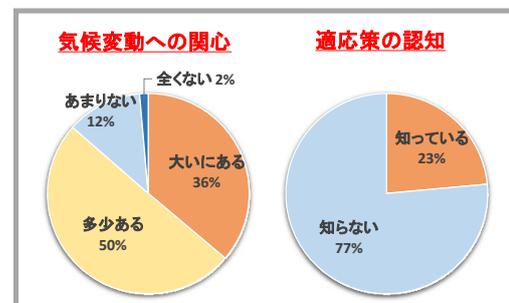
気候変動適応の推進における課題

地球規模の問題である気候変動への適応というテーマについて、
県民1人ひとりに「**自分ごと**」として認識してもらう必要がある。

今年度(R5)の取組み

1. 小学校等への出張教室事業の加速
2. 普及啓発のためのコンテンツ強化
3. 市町村や他部局等と連携した適応策の推進
4. 暑熱対策についての調査研究
5. OCCAC通信の発行やHPコンテンツの更新
6. 藻場アプリのエリア拡大

地球温暖化に関する意識調査(大分県)



令和5年 熱中症搬送者数と日最高気温（大分県）



熱中症による救急搬送状況（発生場所別割合）

全国	住居	仕事場①	仕事場②	教育機関	公衆（屋内）	公衆（野外）	道路	その他
R1	38.6%	10.4%	2.5%	6.1%	8.7%	12.5%	15.6%	5.6%
R2	43.4%	10.9%	2.5%	4.5%	6.7%	9.4%	17.4%	5.3%
R3	39.4%	11.2%	3.0%	5.0%	6.6%	11.1%	17.5%	6.2%
R4	39.5%	11.4%	2.4%	5.6%	7.4%	11.8%	16.6%	5.3%

総務省HPより引用

住居	敷地内全ての場所を含む
仕事場①	道路工事現場、工場、作業所等
仕事場②	田畑、森林、海、川等※農・畜・水産作業を行っている場合のみ
教育機関	幼稚園、保育園、小学校、中学校、高等学校、専門学校、大学等
公衆（屋内）	不特定者が出入りする場所の屋内部分（劇場、コンサート会場、飲食店、百貨店、病院、公衆浴場、駅（地下ホーム）等）
公衆（野外）	不特定者が出入りする場所の屋外部分（競技場、各対象物の屋外駐車場、野外コンサート会場、駅（屋外ホーム）等）
道路	一般道路、歩道、有料道路、高速道路等
その他	上記に該当しない項目

大分	住居	仕事場①	仕事場②	教育機関	公衆（屋内）	公衆（野外）	道路	その他
R1	39.6%	7.5%	2.9%	3.8%	7.1%	20.1%	11.2%	7.7%
R2	48.0%	7.8%	4.3%	5.5%	5.4%	12.7%	10.4%	5.7%
R3	50.1%	6.1%	1.6%	5.3%	4.3%	12.8%	11.0%	8.9%
R4	52.0%	6.4%	2.2%	4.0%	5.4%	13.9%	10.7%	5.4%

大分県HPより引用

大分-全国	住居	仕事場①	仕事場②	教育機関	公衆（屋内）	公衆（野外）	道路	その他
R1	1.0%	-2.9%	0.4%	-2.3%	-1.6%	7.6%	-4.4%	2.1%
R2	4.6%	-3.1%	1.8%	1.0%	-1.3%	3.3%	-7.0%	0.4%
R3	10.7%	-5.1%	-1.4%	0.3%	-2.3%	1.7%	-6.5%	2.7%
R4	12.5%	-5.0%	-0.2%	-1.6%	-2.0%	2.1%	-5.9%	0.1%

暑熱対策についての調査研究

身近な適応策の効果が実際にどの程度あるのかを、**WBGT(暑さ指数)計**を用いて測定。



緑のカーテン(ゴーヤ) / シェード



すだれ



遮熱シート



カーテン



レース

測定場所：県職員住宅



鉄筋コンクリート造(平成2年度築)
 延面積 484.34 m²
 延面積 1,237.38 m²
 1戸当 15.00 m²



測定機器：国立環境研究所から貸与



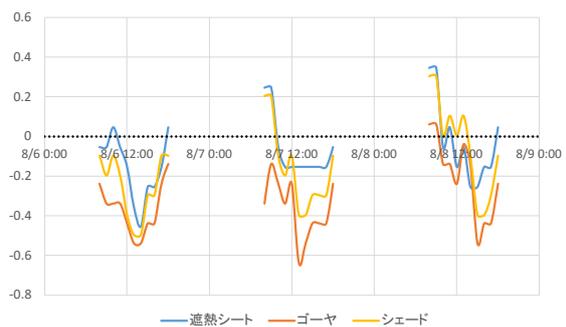
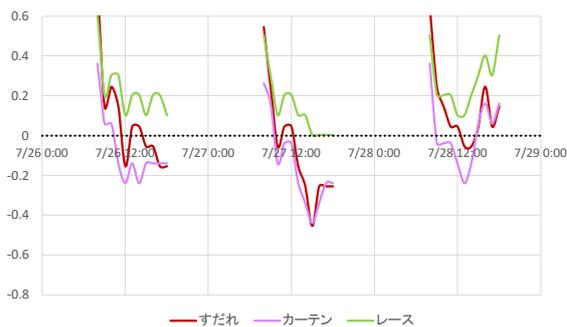
KEM WBGT-213BN



KEM WBGT-302

測定結果(例:WBGT比較)

8~18時(毎正時)における「(各)対策あり」と「対策なし」との差(°C)



各時間帯(毎正時)における「対策なし」との差の平均値比較(°C)

時間帯	すだれ	カーテン	レース	遮熱シート	ゴーヤ	シェード
8-18時	0.05	-0.07	0.22	-0.08	-0.31	-0.15
8-12時	0.21	0.03	0.27	0.03	-0.23	-0.02
13-18時	-0.09	-0.15	0.17	-0.17	-0.38	-0.26
max	-0.45	-0.44	0.004	-0.45	-0.64	-0.50

【留意点等】

- 測定器はWBGT-213BNを使用
- 建物最上階(3階)の4部屋(角部屋除く)を用いて測定
- 測定日の違いによる影響の可能性については未解析
- 室間差については、各部屋(対策未実施)にて6時間毎3日間(同時)測定を行い、各時間における部屋ごとの偏差を求め、その平均値を用いて補正

調査結果の活用



センターHP、通信、イベント、出張教室 等において適応策として紹介